

総選挙
比例近畿

辰巳氏が当選

全国で4議席
近畿で2議席ならず



支持者とともに当選を喜び合う（左3人目から）辰巳氏、清水忠史元衆院議員

総選挙は8日投開票され、自民党は単独で総定数の3分の2にあたる310議席超を得て過去最多議席。中道改革連合は118もの大幅議席減。日本共産党は奮闘しましたが、4議席で改選8議席から後退し、沖縄1区の議席を守ることができませんでした。

日本共産党

比例代表近畿ブロック（定数28）で日本共産党は、辰巳孝太郎氏が2期目の当選。改選前の2議席確保をめざしましたが、堀川あきこさんの議席を守ることができませんでした。日本共産党は、物価高騰で暮らしを守るため消費税減税、大幅賃上げなど、責任ある財源提案を示して政策を訴え抜きました。また、アメリカ力言いなりの大軍拡でなく、憲法9条を生かした外交で平和をつくろうと呼びかけました。

高市強権政治のもと、多くの政党が「右へ右へ」となびくなか、「暮らし・平和・人権 国民のために」を訴え、「今度ばかりはたらく党」を訴え、「今度はかりは共産党」と共感を広げました。

**強く大きな党づくり、
自民党政変える**

日本共産党は、議席は後退しましたが、国民の皆さんの利益を守り、強く大きな党をつくって、自民党政治を変える道を開くため、今後も全力で奮闘します。

議席結果	自民	維新	中道	国民	参政	共産	みらい	保守	れいわ	減ゆう	社民
近畿比例	10	8	5	2	2	1	0	0	0	0	0
()は前回	(6)	(7)	(立民4 公明3)	(2)	(1)	(2)	(一)	(1)	(2)	(一)	(0)

危険な流れに立ち向かう、共産党の役割果たす

田村委員長が会見

日本共産党の田村智子委員長は8日夜記者会見し、「今回の選挙で高市首相は『国論を二分する政策』を進めると言いながら、その内容についてまったくと言っていいほど語らなかった」と指摘。「とりわけ、大軍拡、『非核三原則』の見直し、『スパイ防止法』制定、

国民は首相に
白紙委任与えず

憲法9条改憲などについて、国民が信任したわけでも首相に白紙委任したわけではない」と強調しました。

そして、今の政治の中で日本共産党の役割がいよいよ重要になっており、「戦争国家」づくりなど、危険な政治の流れに立ち向かうと表明しました。

近畿民報

2026年2月No2(第686号)
※日本共産党は以上の見解を発表しました。

発行／日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所
〒537-0025
大阪市東成区中道1-10-10ホクシンブیس102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

しんぶん赤旗

日刊
(毎日配達されます)
月3,497円

日曜版
(毎週配達されます)
月990円